

## 11月定例会のご案内

### 「ビデオ関連質疑・応答コーナー」と「近況報告」

11月も引き続き、「ビデオ関連、何でも質疑・応答コーナー」を行います。  
コーナーと銘打っておこなうのはこれで3回連続になります。10月も活発なやり取りとなり  
ましたが時間切れ消化不良の感で、11月も続行といたしましょうか。

ちょっとした情報やヒントでもかなりの「得心」に結びついたようで、やはり様々な方が  
在籍しているビズネットならではの、といったところです。

あわせて各会員の「近況報告」も行います。これも盛り上がりの予感！

### 「ホール撮影の現場見学」

10月会報でお知らせした「ホール撮影の現場見学」のマッチング作業を可能であれば  
行います。「見学希望」と「見学OK」の方は手を挙げてくださいまし。

※先日、HPを見た方からお問合せがありました。  
今回参加されるかも知れません。皆様、よろしく願いいたします。

日時 11月15日(火) 午後7:00～午後9:00 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里5-50-5  
ホテルラングウッド5階 03-3807-3211  
場所 日暮里サニーホール 第3会議室 JR・京成 日暮里駅前より徒歩約5分。

11月17日(木) 恒例「インタービー2016」見学。(自由参加です)  
参加者は各自ご自分の都合の時間帯で見学していただいた後、よろしければ  
午後5:00にSONYブース前にご集合下さい。集合写真撮影後、二次会です。  
なお、玄光社も例年通りブースを出しているのぜひ立ちよってみてください。

## 10月定例会報告 (2016/10/18)



前半は「質問コーナーPart2」で盛り上がり、後半はプロジェクターで、  
松本洋之さんが撮影した映像を観ながらのひと時。  
「偲ぶ」雰囲気はそれほど無く(と言うよりは認めたくもなく、実感もなく)  
ワイワイガヤガヤといつものように時間は流れ…



平成二十七年八月二日  
小田原にて

松本洋之氏



平成二十六年  
五月二十五日  
陣馬山にて

## 松本洋之氏さんへの文

高橋昌一

風貌は本会報の写真通り。顔はデカイ！そのデカイ顔で「撮影だったら皆には負けないヨ！」と公言。「でも、」と続く。「オレは一人で、営業して、お客さんを獲得して…なんてことはやったことない！」とビズネットの会員にはいつもリスペクト。

そんな彼と個人的な付き合いもしている。僕はプライベートで「障がい者との登山会」を30年ほど続けている。その際、毎回ビデオ撮影した映像を編集し、後日参加者みんなで思い出の会と称して上映している。さて8年前、平成20年の登山会は北海道有珠山へ250名ほどで行くことになった。どう考えても自分一人での撮影では手が回らない。そこで松本さんに参加条件はあくまでもボランティアカメラマン（旅程3日、参加会費として3万円必要）として参加依頼したところあっさり「OK！」の即答。それから昨年まで毎年欠かさず参加して来る。障がい者との間に何の隔たりを持たない性格で当然彼ら大勢の人気者に。「身体障がい者との登山はオレのライフワークになったよ」と言ってはばからなかった彼の一面。実は8月の高橋への突然の第一報はFacebookを見たその登山の仲間からだった。本当に彼はいつまでも仲間を友を広げ続けているなあ。

吉岡伸次

松本洋之さんは、いつも Facebook を更新していました。

ここ2ヶ月、更新がないけど、どうしたんだろうと思っていた矢先の8月27日、松本さんの Facebook に以下のような投稿がありました。

\*\*\*\*\*

突然の訃報をお許してください。

兄ヒロユキは胃癌の為、8月24日に永遠の眠りにつた事をご報告します。

兄貴の遺言により、誰にも言わなくていいと。

そしてすべてが終わった時に知らせてくれって、すべて後の祭りにしてくれって！！

FB 友達の皆様、葬儀は家族葬で行なった事をご理解頂けると助かります。

馬鹿アニキは笑って天国に行った事を信じて…

生前兄ヒロユキと楽しく仲良くしてもらった事を感謝します。

\*\*\*\*\*

10月の定例会で、急逝なさった松本さんを偲ぶ意味で、松本さんが撮った映像を上映しました。

ひとつは、会長・高橋さんが所属している登山クラブ主催の、身障者が参加する登山ボランティアの撮影班として残してくれた映像。

そしてもう一つは、プロの映像ボランティア団体・PVプロボノで撮影した「たまプラーザ」応援のPVです。

松本さんは、映画の照明などを手がける、映像業界の人でした。PVプロボノでもわかるように、映像・芸能全般、そっち方面にも顔は広がったです。

私は松本さんの誘いで、PVプロボノの上映会を見に行き、その二次会に行きました。それこそ、業界で活躍しているプロの人たちが多数参加して、自分がこんなところに居て大丈夫なんだろうか、と思ったことがあります。

松本さんは、ライブのプロデュースを手がけたりしていました。

そういうライブ後の音楽関係者が集まっている二次会や、あと、お笑い芸人の飲み会にも連れて行ってもらえたっけ。

ビズネット以外の方からは、「監督」と呼ばれていました。

私は松本さんのおかげで、いろんな人と出会い、松本さんが交友している人たちも見る事ができたのですが、

松本さんは、ビズネットの人達とビデオ談義をしている時がすごく楽しそうで、一番リラックスしてビデオに向き合っていたんじゃないのかなぁと感じます。

私ももっと、ビデオの話をしたり、教わったりしたかった。

自分は まだ、松本さんに聞けるレベルじゃないな、と思って、会員紹介の記事を作らなかったのが悔やまれます。いつでも良いと言ってくれていたのに。

Facebookでのハンドルネームは(一昨年くらいからか)「笑夢 洋之」と名乗っていました。享年 56 歳。

早すぎるよな、と思う一方、その儚さは、笑夢さんらしいな、とも思います。

Facebookのタイムラインには、今も他の人からの、お悔やみの投稿が後を絶ちません。みなさんから愛され、親しまれていました。

笑夢さんのタイムラインには、いろんな人からの、たくさんの松本さんの写真が載っています。もし、見られる方は、ぜひご覧になってください。